

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	玄関先に理念がさりげなく掲示され、職員にも周知されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員において理念が共有され、地域密着型としての取り組みを意識して日々取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事には多々参加され、また、学校行事、地域の行事にも呼ばれるなど、地域に根ざしたつきあいがなされている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員が評価の意義を理解され、評価後話し合いを開き改善に向けて取り組まれている。また、項目を念頭に置き日々の利用者のケアにあたられている。		

宮崎県美郷町北郷区 グループホームあじさい苑

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的に行われ、ホームの近況の報告、また、地域の行事の情報収集等も行われている。	○	運営推進会議は定期的には行われているが、3か月ごととなっているため2かごとに行われるよう期待したい。また、自治会、老人会の方がメンバーとなり、より地域に密着した話し合いがなされることが期待される。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議での話し合いや、利用者の部屋が変更になった場合でも連絡を取るなど、随時お互いに連携が図られている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時には近況の報告を行い、また、2～3か月ごとのホーム便りにて写真を載せた報告を行っている。面会のない家族には随時電話にて報告が行われている。		それぞれの家族へ身近にあった出来事の何気ない報告や誰にでもわかるような言葉にて報告が行えることが望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見・苦情処理箱も設置されており、常に家族の言動に配慮している。遠足等に家族にも参加していただき、家族との信頼関係作りに努められ、意見が運営に反映されるよう取り組まれている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	事前に交流のある顔なじみの職員が配置されるなどスムーズな異動ができており、利用者への影響が出ないような配慮がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修会には積極的に参加され、自主研修も月に一度開催されており、研修後も復命書の作成、研修報告が行われ職員を育てる取り組みができています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会において情報収集を行い、サービスの質を高める取り組みがなされている。また、利用者の交流が図れるような取り組みも考慮されている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者希望者、家族にも事前に話し合いがなされ見学等にも来ていただき、納得された上でのサービスの利用ができる工夫がなされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	地元の職員を配置するなどの配慮がなされている。利用者の良いところを探すよう心掛け、理念に基づき利用者と昔の話をするなど本人と共に支え合う関係、家族的な関係作りができています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望は随時間かれており、散髪、衣服の購入等にも行くなど、本人本位となるような取り組みができています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族との話し合いもなされ、利用後の観察をしばらく行い、本人の状態を把握した後、関係者でのケアカンファレンスにて本人本位の介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6か月ごとに介護計画の見直しがなされている。また、変化に応じて随時行われ、職員間でもモニタリングシートを利用し、関係者の意見が反映された見直し計画の作成が行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	緊急時には同法人内の施設と連携をとり、外出時には車を借りるなどの柔軟な支援ができています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医に随時近況を報告し、定期的な検診も行うなど適切な医療が受けられる支援ができています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	地域柄、難しい面もあるが、施設長より重度化や終末期に向けた取り組みが伝えられている。現在は施設、病院、家族との連携等、その体制作りに取り組まれている。	○	重度化や終末期に向けての取り組みはなされているため継続し体制を整えていかれることが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ホーム便りの写真の掲載においても家族の了承を得るなど、プライバシーの確保ができています。記録等の個人情報の取り扱いにおいても保管ができています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの話に耳を傾け、観察を行いその都度希望を聞き、一人ひとりのペースで過ごせるような支援ができています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が食べたいものの希望を時折聞き、そのメニューにするなど食事を楽しむ支援ができています。また、利用者も一緒に準備、片付けを行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後にゆっくりと入浴されている。希望があれば毎日でも入浴でき、状況に応じた対応がなされ入浴が楽しめる支援ができています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物をたたんだり、配膳をしたりと一人ひとりの機能にあった役割があり、楽しみごと、気晴らしの支援がなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日散歩に出かけたり、地域のサロン、買い物、図書館に行かれるなど積極的に地域との交流を図る支援ができています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関にも鍵をかけておらず、面会者等の出入りも自由であり、また、見守りも同法人の施設と連携ができています。		

宮崎県美郷町北郷区 グループホームあじさい苑

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の対応手順が大きな字で書かれた紙が事務所のドアにはってあり、利用者も含めた訓練が月に一度行われている。地域の訓練も年に2回行われている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事せんにて水分、栄養チェックができています。栄養バランスは同法人内の栄養士との連携によりカロリー計算され、管理されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が日中過ごされる部屋からは四季折々の風景が眺められる窓があり、畳の空間では利用者が洗濯物をたたみ、ソファにてテレビを見られるなど生活感にあふれ、居心地良く過ごせる工夫がなされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者それぞれの居室には使い慣れたものが持ち込まれ、畳の部屋、フローリングの部屋があり、一人ひとりが過ごしやすい配慮がなされている。		

※  は、重点項目。